

①施策の目的等

施策の名称	Ⅱ-4-2 妊娠・出産支援の充実
目的	全ての親と子が健やかに暮らせるよう、妊娠、出産期を通じた親と子の心と体の健康の保持増進を目指します。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
低出生体重児の出生割合 (暦年)	目標値		10.5	10.3	10.0	9.6	%	出生後4ヶ月児の母乳育児の割合	目標値		65.0	66.5	67.5	68.5	%	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値	10.8							実績値	64.5						
	達成率	-	-	-	-	-	達成率	-	-	-	-	-	-	-		
妊娠初期（妊娠11週以下）からの妊娠届出率	目標値	88.0	89.0	90.0	90.5	91.0	%	妊娠・出産・子育ての総合相談窓口の設置市町村数	目標値	2.0	3.0	7.0	15.0	19.0	市町村数	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値	88.6							実績値	1.0						
	達成率	100.7	-	-	-	-	達成率	50.0	-	-	-	-	-			
定性目標	平成28年度～平成31年度															
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）																

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<p>①周産期死亡率や新生児死亡率は減少傾向にあり、全国平均を下回っているが、低出生体重児の出生割合はH24:10.5、H25:9.7、H26:10.8と横ばいで全国平均(H24:9.6、H25:9.6、H26:9.5)を上回っている。</p> <p>②晩婚化により不妊に悩む夫婦も増えており、特定不妊治療助成事業の申請組数もH25:498組、H26:554組、H27:601組と増加している。一方、不妊についての理解が不十分なため男性の不妊治療の参加が遅れがちであり、不妊治療の効果が出にくい場合がある。</p> <p>③産科・小児科医師の減少や地域偏在は解消されていないが、総合周産期母子医療センターや地域周産期母子医療センターを中心に、周産期医療ネットワークを構築し、県内どこに住んでいても安心して出産できる体制を維持している。</p> <p>④母子保健サービスを妊娠早期から利用してもらうためには、妊娠早期からの妊娠届出が必要で妊娠11週以下の届出を推奨しており、年々その割合は増加しているが、国平均(H24年度90.8%)を下回っている。</p> <p>⑤県内でも、児童虐待による重症事例も報告されており、母親のメンタルヘルスへの支援など、妊娠期からの切れ目のない支援相談体制が求められている。</p>
---	--

④今年度末の施策目的の達成度予測

28年度の施策目的の達成度予測	判断	その理由
A:達成できる B:概ね達成できる(見直す点がある) C:達成は困難	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠・出産・子育ての総合相談窓口については、昨年度1市(町村)が設置し、今年度も3団体に動きがある。</li> <li>母親へのメンタルヘルスへの支援や妊娠期から切れ目のない支援のために作成した手引きの配布や、その手引きに基づいた専門職種ごとの研修会の開催などにより、母乳育児の割合や妊娠初期からの妊娠届出率は向上すると見込まれる。</li> <li>低出生体重児の出生割合は、若い時からの教育、啓発も必要であり改善に時間がかかる。</li> </ul>

⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況(予測)	判断	その理由(④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載)
A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	B	
(2)施策の目的達成に向けての課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>低出生体重児の要因の1つとされている妊娠中の喫煙、偏った食生活、極端な体重制限などの改善や、心の健康、妊娠・出産にかかるライフプラン設計のために必要な知識の普及などを目指した思春期からの取組の強化</li> <li>不妊検査・治療に関する効果的な情報提供</li> <li>周産期医療機関同士の現状と課題の共有化と連携の促進</li> <li>産後うつなど母親のメンタルヘルスの支援や母乳育児の支援を含めた妊娠期からの切れ目のない育児支援対策の充実</li> <li>妊娠期からの切れ目のない育児支援に従事する関係者の資質の向上</li> </ul>

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い時から人工妊娠中絶など、望まない妊娠を防ぎ、妊娠しやすい年齢等妊娠出産に関わる知識を正しく理解した上で、自分のライフプランの設計ができるように、教育部局と連携して取組みを実施する。</li> <li>男性不妊を含む不妊対策について、広報媒体を活用し引き続き周知を図る。</li> <li>周産期関係病院が参集して、各医療機関の現状と課題を共有し、連携促進を図るための検討を進めるとともに、各圏域においても圏域の実情に応じた医療機関の機能分担と連携などについて検討を進める。</li> <li>関係機関と連携して妊娠期や産後早期から母親のメンタルヘルスの支援や母乳育児の支援など安心して子育てできる環境づくりを推進する。</li> <li>好事例の紹介や研修会などを開催し、関係者の資質の向上を図り、市町村に妊娠・出産・子育ての総合相談窓口の設置を進め、妊娠期からの切れ目のない相談・支援体制づくりを推進する。</li> </ul>
---------------------	--

施策評価シート別紙1(5以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

施策の名称	Ⅱ-4-2 妊娠・出産支援の充実
-------	------------------

②総合発展計画に定める成果参考指標の目標(実績)

項番	指標名等	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
5	全戸訪問による産後の母親支援の実施市町村数	目標値	7.0	9.0	15.0	17.0	19.0	市町村数
		取組目標値						
		実績値	7.0					
		達成率	100.0	-	-	-		%
6		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
7		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
8		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
9		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
10		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
11		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%
12		目標値						
		取組目標値						
		実績値						
		達成率	-	-	-	-		%

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	Ⅱ-4-2 妊娠・出産支援の充実			
-------	------------------	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	お産あんしんネットワーク事業	高度専門医療を効果的に提供できる周産期医療体制(連携体制)を構築する。	5,920	43,209	健康推進課
2	女性の健康相談事業	不妊や思春期の不安を軽減する。	2,618	2,462	健康推進課
3	不妊治療支援事業	子どもを産み育てることを望む夫婦の希望を叶えるために、不妊検査・治療を促進する。	133,215	192,265	健康推進課
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					